

SUSE、包括的なソフトウェアスタックに機能を追加し、 お客様のデジタルトランスフォーメーションの加速を支援

- SUSE は、SUSE Linux Enterprise の進化と Rancher by SUSE のセキュリティに特化した新しいアップデートにより、業界で最も安全なオープンソースソリューションとしての評判を高めています
- SUSE は、Rancher Prime のお客様向けの AI サポートを含む、サポートの強化、リアルタイムパッチ適用、自動化により、お客様の事業継続性を引き続き向上させます

ミュンヘン（SUSECON 2023）-2023年6月20日 - 革新的で信頼性と安全性の高いエンタープライズグレードのオープンソースソリューションのグローバルリーダーである [SUSE®](#) は、本日 SUSECON において、IT インフラの安全性とデジタルトランスフォーメーションの加速を最良とするミッションの一環として、お客様のデジタルトランスフォーメーション加速を支援する新たな先進機能を発表しました。

SUSE の最高技術責任者兼製品責任者である Thomas Di Giacomo 博士は、「ますます巧妙になり、壊滅的な被害をもたらす可能性のあるデジタル攻撃に直面するため、すべての企業はビジネスの回復力を最大化する必要があります」と述べています。「つまり、複雑なワークロード、特に顧客データの保護が厳しく問われる AI/ML プラットフォームのセキュリティ態勢について真剣に取り組む必要があるのです。SUSE のサプライチェーンセキュリティへのアプローチと最新の発表により、お客様はクラウドネイティブの世界の利点を安全に適應させ、デジタルビジネスの安全を確保することができます」

SUSE による新しい [トレンドレポート](#) によると、回答者の 88% 以上が過去 1 年間にクラウド関連のセキュリティインシデントを 1 件以上経験したと報告しています。SUSE は、お客様のデータを保護し、お客様が脅威の先を行くことを支援するビジネスを行っています。これらの懸念に対処するため、SUSE は、お客様、パートナー、オープンソースコミュニティが、クラウド、エッジ、データセンターのいずれであっても、アプリケーションワークロードを安全に実行し、ビジネスをより強靱にできるように、インフラストラクチャのセキュリティスタックを構築し続けています。

クラウドネイティブのための新レベルの Linux セキュリティの導入

SUSE のフラッグシップエンタープライズ Linux プラットフォームの最新バージョンである SUSE Linux Enterprise 15 Service Pack 5 (SLE 15 SP5) は、AI/ML ワークロードに不可欠なハイパフォーマンスコンピューティング機能を実現し、世界で最も広く採用されている Kubernetes プラットフォームである Rancher と連動するように設計されています。SLE 15 SP5 は、ライブパッチ機能をさらに拡張し、ビジネスの継続性、セキュリティ、コンプライアンスを向上させるとともに、業界最高レベルの認定を受けた、業界で最も安全な Linux プラットフォームとしての SLE の評判をさらに高めています。ハイライトは以下の通りです：

- **Confidential Computing でクラウドとエッジ環境にプライバシーを提供** - SLE 15 SP5 は、パブリッククラウドとエッジで処理される顧客データを保護する画期的なアプローチである Confidential Computing を全面的にサポートする初の Linux ディストリビューションです。これにより、お客様は環境を

問わず、完全に暗号化された仮想マシン (VM) を実行することができます。このように、SLES 15 SP5 は、Intel、AMD、Arm、IBM の最新チップセットイノベーションをサポートしています。

- **SAP インフラの保護** - [SLE 15 SP5 for SAP Applications](#) - SAP の支持を受け、セキュリティ機能を組み込んだ自動化とツールの強化により、SAP システムの高可用性と迅速な導入がさらに改善されました。これらの機能強化は以下の通りです：サーバー、クラウドインスタンス、SAP HANA データベース、SAP S/4HANA、NetWeaver アプリケーションおよびクラスタの自動検出と完全な観測が可能です。SP5 では、HA (High Availability) 構成を継続的にチェックし、潜在的な問題を可視化し、推奨される修正を適用することができるよう強化されています。
- **Linux エステートのレジリエンスを構築** - [SUSE Manager 4.3.6](#) は、SUSE システムだけでなく、Rocky Linux、Alma Linux、RHEL 9 などのすべての RHEL 9 バリエーションを含む 15 種類以上の Linux ディストリビューションをサポートします。この初秋、SUSE Manager は AWS のマーケットプレイスで従量制サービスとして提供される予定です。これにより、顧客はクラウドからインフラを管理できるようになり、クラウドプロバイダーからの使用量、スケーラビリティ、単一請求の恩恵を受けられるようになります。時間や社内スキルが不足している場合は、SAP ワークロードを実行しているお客様専用のもを含む、サブスクリプション、サービス、トレーニングを包含する新しい SUSE Manager ソリューションを利用することができ、価値実現までの時間を短縮することができます。
- **クラウドネイティブの世界を実現する Linux** - [SUSE Adaptable Linux Platform \(ALP\)](#) は、コンテナ化および仮想化ワークロードを実行するモジュール型 Linux に進化することで、エンタープライズ Linux を最新のクラウド環境へと前進させます。SUSE ALP は、自己修復と自己管理を提供するオープンソースプロジェクトであり、OS とコンテナ層の両方に影響を与えるタスクを実行します。これにより、ユーザーはハードウェアやアプリケーションから抽象化されながら、ワークロードに集中することができます。

Kubernetes のフルライフサイクルコンテナセキュリティでデジタルエンタープライズを保護する

SUSE のレポートでは、回答者の 88% が、データが改ざんされないとわかっていれば、チームがより多くのワークロードをクラウドやエッジに緩和することに同意していることもわかりました。顧客とパートナーを確実に保護するために、Rancher by SUSE は、[2023 年春の発売](#)から、ストレージの最適化、ハード化 VM のサポート、脆弱性とコンプライアンス管理の改善など、セキュリティに焦点を当てた新しい製品アップデートを積み重ねています。

- **データ保護の強化、バックアップアーカイブの最適化、高度なカーネル技術による Kubernetes 最適化ストレージの新基準** Rancher が主要なメンテナを務める CNCF のインキュベーター・プロジェクトである [Longhorn 1.5](#) には、アプリケーションが使用する永続ボリュームの入出力性能を向上させる、次世代ストレージ性能開発キットベースのストレージエンジンのプレビュー版が追加されています。その他、新たにリリースされた機能として、コンテナ・ストレージ・インターフェース (CSI) を通じてバックギイメージを制御する機能や、Pod Disruption Budgets を通じた ClusterAutoscaler のサポートがあります。これらにより、運用者はストレージボリュームのコストに関する権限を強化し、パブリッククラウド Kubernetes 全体での展開をサポートします。
- **最新のインフラストラクチャ・スタックにおけるコンテナと VM の相互依存の高まりに対応** SUSE は、[Harvester 1.2](#) のリリースを控えており、クラウドネイティブインフラ運用の簡素化に向けて前進を続けています。7 月からは、CSI によるサードパーティ製ストレージのサポートや、セキュリティに最適化されたオペレーティングシステムの実行機能などの機能を利用できるようになる予定です。また、Telco およびエッジユーザーは、シングルルート I/O 仮想化機能のワークロードへの動的割り当てや、リソースが制限された環境での運用機能の制御を向上させる新しいモジュール式フレームワークを実装できるようになります。

さらに、新たな実験的機能として、Rancher の迅速な導入のために Harvester に組み込まれた完全な Rancher 管理コンソールの実装や、Kubernetes クラスタ内で VM やコンテナを実行・管理する機能をユーザーに与えるために Harvester で「ベアメタルモード」のリリースがあります。

- **脆弱性管理の改善とシンプルな Kubernetes セキュリティ** [SUSE NeuVector 5.2](#) アップデートは、エンタープライズグレードのセキュリティ、脆弱性、コンプライアンス管理、および企業のスケーラビリティとレジリエンスをカバーしています。主な機能として、一般的な脆弱性と暴露データベースの検索、重要なものが見落とされないようにする NIST 800-53 レポートマッピング、Center for Internet Security (CIS) ベンチマーク、AWS Marketplace 統合課金、トークンベースの API アクセス、カスタマイズできるログインバナー (RGS) 、Harbor アダプターがあります。

SUSE は、事業全体でクラウドサービスプロバイダーへの投資を続けています。7 月には、SUSE NeuVector が AWS Marketplace で提供され、AWS の顧客は、フルライフサイクル、ゼロトラストのコンテナセキュリティに従量課金でセルフサービスのアクセスできるようになります。NeuVector は、Kubernetes インフラストラクチャへの卓越した可視性、ランタイム攻撃を防止するゼロトラストコントロール、脆弱性とコンプライアンスのスキャンとコードとしてのセキュリティポリシーによるサプライチェーンセキュリティを提供します。なお、SUSE NeuVector は、今夏以降、Azure と Google Cloud でも利用できるようになる予定です。

- **AI でカスタマーエクスペリエンスを向上させる** Rancher Prime の AI アシスタントは、自動化された正確でリアルタイムのサポートを顧客に提供し、Rancher Prime の顧客の Slack チャンネルから利用できるようになります。OpenAI やその他の最先端の生成 AI 技術の力を活用することで、正確で役立つ情報を提供しながら、セルフサービス可能で消費しやすいユーザーエクスペリエンスを持つことができるようになります。

分散環境におけるユーザビリティとセキュリティの向上

[SUSE Edge 2.0](#) は、センサー、制御システム、カメラなどを含む IoT デバイスのワークロードを発見しスケジューリングするためのコンポーネントとして [Akri](#) を追加することでサポートを受けます。これにより、産業用 IoT デバイスをスタックの他の部分と一緒に宣言的に管理できるようになります。これにより、IT/OT の統合や構成の再利用性が向上するとともに、自己修復型クラスタへの道筋が示されます。

パートナーおよびお客様の声

「20 年以上前、私たちはドイツで初めて、SLES をベースにした Linux クラスタを構築した大企業でした。それ以来、オープンソース技術は、当社の企業戦略の重要な要素となっています。それ以来、SUSE とともに達成した結果は、私たちの決断がまさに正しかったことを示しています」 - **MTU Aero Engines AG Linux チーム長 Thomas Kronseder 博士**

「クラウドコンピューティングの性能要求を持続的かつ安全に満たすには、エネルギー効率の高い特殊な処理と強力なソフトウェアエコシステムが必要です。SUSE Linux Enterprise ポートフォリオを拡大するために SUSE と継続的に取り組んでいることで、Arm のエコシステムは、SLE Micro のような定評のある OS で革新的なソリューションをより早く市場に投入することができ、PSA 認定レベル 1 の達成によって証明されたセキュリティの信頼性も確保できます」 - **Arm ソフトウェアコミュニティ担当シニアディレクター Andrew Wafaa 氏**

「通信業界は、セキュリティ、エネルギー、ネットワーク性能の要件においてクラス最高のものをカバーする産業グレード

のクラウドネイティブ通信事業者向けクラウドスタックの共通の設計図を必要としているという信念を共有するパートナーとして、SUSEを迎えることができたことを嬉しく思っています。これは、クラウドネイティブネットワーク機能の統合作業を、通信事業者が異なるベンダーの CNF をあらゆるオープンソースの通信事業者向けクラウドスタックで実行可能なレベルまで引き下げるために不可欠です。私たちは、Linux Foundation Europe が主催する最初のプロジェクトである Sylva を通じて、これを実現するユニークな機会を得ました。Sylva では、インフラストラクチャからベアメタル、エッジまで、航空宇宙など、同様の要件を持つ新しいビジネスケースへの扉を開くために共同で取り組んでいます。これにより、エコシステム全体に大きなメリットがもたらされ、事業者が新たな運用モデルを実現するために、高い回復力と優れた信頼性を備えたクラウドネイティブテクノロジーの真のメリットを引き出し、ネットワーク信頼性エンジニア（NRE）への道を切り開くこととなります」 - **Orange ソフトウェアエンジニアリング担当副社長 Philippe Ensarguet 氏**

Arm は、SUSE のパートナーエコシステムが、お客様にタイムリーで効果的なソリューションを提供するために絶えず適応していることを示す代表例です。SUSE Linux Enterprise は、Arm アーキテクチャをサポートする最初のエンタープライズ OS であり、SLE Micro は最近 PSA 認証を取得しました。さらに、Arm は現在、K3s と Longhorn のサポートを提供しており、RKE2、Rancher Prime、NeuVector by SUSE のサポートが予定されています。

SUSE がどのように顧客のデジタルトラストを構築しているかについては、www.suse.com/digital-trust/

SUSE の製品の最新情報については、SUSECON Digital にこちらからご登録ください：

www.suse.com/susecon/

SUSE について

SUSE は、革新的で信頼性が高く、安全なエンタープライズグレードのオープンソースソリューションにおけるグローバルリーダーです。ビジネスクリティカルな Linux、エンタープライズコンテナ管理、エッジソリューションに特化し、パートナーやコミュニティと協力しながら、データセンターからクラウド、エッジ、そしてその先まで、あらゆる場所でお客様のイノベーションを支援します。

SUSE は、オープンソースに "オープン" を戻し、お客様がイノベーションの課題に今日取り組めるようにし、明日から戦略やソリューションを進化させる自由を提供します。同社は、全世界で 2,000 人以上の従業員を擁しています。

SUSE は、フランクフルト証券取引所に上場しています。

将来予想に関する記述

本プレスリリースに記載されている、当社の将来の期待、計画、見通しに関する記述（「目指す」、「目標」、「予定」、「信じる」、「予想する」、「計画」、「期待する」、および同様の表現を含む記述）は、将来予想に関する記述となる場合がありますので、注意して読む必要があります。実際の業績は、競合状況、顧客との取引条件、顧客との関係、成長及び買収の管理、未検出のソフトウェア問題の可能性、Covid-19 の流行及び景気後退の影響によるリスク、価格圧力及びインターネットの有効性など、様々な重要な要因により、かかる将来予想に関する記述によって示されるものとは大きく異なる可能性があります。また、ここに記載されている将来の見通しに関する記述は、本プレスリリースの日付現在の見解を示すものであり、これらの見解は変更される可能性があります。当社は、将来予想に関する記述を更新する義務を負っていません。これらの将来予想に関する記述は変更される可能性があり、このプレスリリースの日付以外の日付における当社の見解を表すものとして依拠すべきではありません。

###



Copyright 2023 SUSE LLC.

すべての著作権は SUSE に帰属します。SUSE および SUSE のロゴは、米国およびその他の国における SUSE LLC の登録商標です。すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

